

マンダム、第 36 回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)2026

パース大会で「最優秀基礎研究ポスター賞」を受賞！

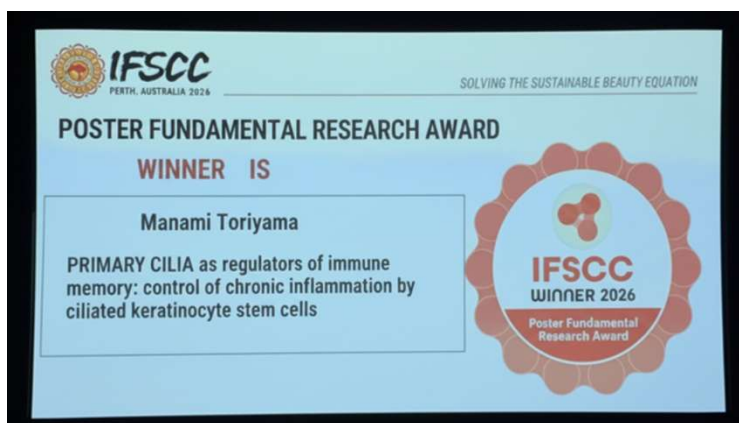
一次繊毛に着目し、肌の炎症を繰り返しにくくする新たなスキンケア技術を提案

大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所の鳥山真奈美特任准教授(常勤)・藤田郁尚副所長らの共同研究グループ*1は、2026 年9月28日(月)～10月1日(木)にオーストラリア・パースで開催された「第 36 回国際化粧品技術者会連盟*22026 パース大会(The 36th IFSCC Congress 2026 Perth)」において、「最優秀基礎研究ポスター賞(Poster Fundamental Research Award)」を受賞しました。本大会において全 825 件(口頭発表 76 件、ポスター発表 749 件)の研究発表がある中からの受賞となりました。

受賞テーマは「一次繊毛*3による炎症記憶の制御 –表皮幹細胞に存在する一次繊毛に着目した慢性炎症制御メカニズムの解明–*4」で、本テーマは The Cosmetic Victories 2026 でも学術部門(Academic prize)で最優秀賞を受賞しています。



受賞時の鳥山真奈美特任准教授(常勤)



○受賞研究テーマ

「一次繊毛による炎症記憶の制御

–表皮幹細胞に存在する一次繊毛に着目した慢性炎症制御メカニズムの解明–」

○受賞者

鳥山真奈美(大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所 特任准教授(常勤))

○研究概要

本研究は、皮膚細胞に存在し、細胞に情報を伝える役割を持つアンテナである「一次繊毛」に着目したものです。研究グループは、一次繊毛が皮膚における「炎症記憶」に関与し、炎症が繰り返される仕組みに関わる可能性を見出しました。さらに、その形成を抑制することで、肌の炎症を一時的に抑えるだけでなく、炎症が再び起こりにくい状態へ導く新たなスキンケア技術の可能性を提案しました。



本研究は、「炎症再発予防」という新しい視点により、肌の安定性やレジリエンス(回復力・抵抗力)の向上につながる次世代スキンケア技術として期待されています。また、一次繊毛という細胞生物学的な知見を化粧品科学へ応用する独自性が高く評価され、今回の受賞に繋がりました。

なお、本研究内容の詳細については、すでに The Cosmetic Victories 2026 受賞時にリリースしております。

今回の受賞により、本研究が化粧品科学分野において国際的にも高い関心を集める成果であることが示されました。研究グループは今後、一次繊毛を介した皮膚炎症制御メカニズムのさらなる解明を進めるとともに、敏感肌や肌荒れを繰り返しやすい肌に対する新たなスキンケア技術への応用を目指します。

関連するこれまでの研究成果

世界初、ヒト初代免疫細胞に“一次繊毛”を発見 皮膚免疫反応における機能を明らかに

(2023.06.16 プレスリリース <https://www.mandom.co.jp/release/2023061601.html>)

【仏・The Cosmetic Victories で最優秀賞！】一次繊毛の形成抑制による『肌の炎症再発予防』への新アプローチ

(2026.04.22 プレスリリース <https://www.mandom.co.jp/release/2026042201.html>)

注釈及び用語解説

*1 共同研究グループ

本研究グループは、マンダムと大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所、東京大学医科学研究所の石井健教授、名古屋市立大学大学院医学研究科の森田明理教授、大阪大学微生物病研究所の元岡大祐講師らによって構成されています。

*2 国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)

国際化粧品技術者会連盟(IFSCC:The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists)は1959年に結成された、世界中の化粧品技術者が、より高機能で安全な化粧品技術の開発に向けて取り組む組織です。世界各地 78 地域におよぶ 48 の団体が加盟し、約 16,000 名の会員から構成されています。学術大会(Congress)には、各国の化粧品技術者が一堂に会し、最新の研究成果を発表し活発な討論が行われ、優秀な発表に対しては各種の Award が授与されています。

*3 一次繊毛

多くの細胞の表面に形成される微細な突起状構造で、細胞外からの刺激を感知するアンテナのような役割を担うと考えられています。

*4 「一次繊毛による炎症記憶の制御 –表皮幹細胞に存在する一次繊毛に着目した慢性炎症制御メカニズムの解明–」

“PRIMARY CILIA as regulators of immune memory : control of chronic inflammation by ciliated keratinocyte stem cells”

発表者：鳥山真奈美(大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所)、池幹人(大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所)、林宜章(大阪大学微生物病研究所ゲノム解析室)、本波香織(マンダム 先端技術研究所)、齋藤香織(マンダム 先端技術研究所)、原武史(マンダム 先端技術研究所)、渡邊翔(マンダム スキンケア研究所)、Haoyuan He(大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所)、中奥絢音(マンダム スキンケア研究所)、Defri Rizaldy(バンドン工科大 薬学部)、中村元樹(名古屋市立大学大学院医学研究科)、石井健(東京大学医科学研究所)、元岡大祐(大阪大学微生物病研究所)、森田明理(名古屋市立大学大学院医学研究科)、藤田郁尚(マンダム 技術領域/大阪大学大学院薬学研究科 マンダム先端化粧品科学協働研究所)